

道るべ

2014年
春号

vol. 70



理念 信頼され愛される病院

社会医療法人 愛生会

<http://www.aiseikai-hc.or.jp/>

Q 医療は愛生会

検索



トップメッセージ

今後地域に
貢献していくために



診療科のご紹介

手術室
麻酔科・眼科

第8回 市民公開講座レポート

病診連携コーナー

あじま眼科クリニック

今後も地域に貢献していくために

◆愛生会は

社会医療法人になりました

社会医療法人 愛生会
理事長 加藤 知行



「社会医療法人」として

医療法人愛生会は、昭和26年4月に上飯田第一病院として発足して以来、地域の皆さまに「信頼され愛される

病院」を基本理念に掲げて、皆さまの健康を守ることを願って活動して参りました。当初は20床の病院からスタートしましたが、常に職員と医療機能を整備・充実させて最良の医療をご提供することを心がけて参りました。現在では総病床数は334床になり、総合上飯田第一病院の急性期、上飯田リハビリテーション病院の回復期、上飯田クリニックの人工血液透析、愛生訪問看護ステーション、あいせいデイサービスセンター、愛生居宅介護支援事業所などの介護福祉事業部、愛生会看護専門学校を擁するグループになりました。これもひとえに地域住民の皆さま、医師会の皆さまそして連携大学の皆さまの多大なるご支援の賜物であると厚く御礼申し上げます。

この4月からは「社会医療法人愛生会」として新たなスタートを切るようになりました。社会医療法人は、一般の医療法人よりも公益性が高い医療を提供することが求められますが、愛生会は、特に救急医療に重点を置いて皆さまのご期待に答えたいと思います。

高齢化問題は大きな課題

内閣府によれば現在約1億3千万人とされる我が国の総人口は出生率の低下によりさらに減少して2048年には1億人を下回る一方、団塊の世代が2015年には65歳の前期高齢者に到達し、また平均寿命の延伸のために高齢者人口・高齢化率はますます増えると推計されています。現在でも65歳以上の高齢者は人口の4分の1を占めています。2025年を経て、その10年後には3人に1人が高齢者となり、特に後期高齢者の増加傾向が著しいと推計されています。少子高齢化の問題が叫ばれて久しく、それをどう乗り越えていくのが大きな課題であります。

65歳を越えても社会で活躍している人は多く、また社会もそれらの方々活躍を必要としています。しかしながら疾病に関しては、医療を必要とする方は64歳以下の方よりも65歳以上の高齢者に多く、現在でも総合上飯田第一病院に入院している60%、外来に通院している50%の患者さまが高齢者です。2025年そして2035年を迎える時には、病院へ通院あるいは入院を必要とする高齢者はますます増加するでしょう。

人口構成の中で最も多い64歳以下の方の治療に力を注ぐことは勿論ですが、このように我が国の人口構成が変わると、医療のあり方も変わらざるを得ません。同じ病気でも高齢者は治るまでに時間がかかるのですが、肺炎や心臓疾患あるいは糖尿病などの慢性疾患が多く、病気になる若いうちに入院治療して退院したら少し養生して社会復帰するというわけにはいきません。急性期から回復期を経て在宅での医療と、慌てることなく、穏やかに療養して社会に戻ることができる医療が要求されます。



▲昭和37年頃 昭和37年3月…上飯田第一病院本館(106床)完成



▲昭和48年頃 昭和48年11月…上飯田第一病院(205床)新築移転



▲現在 総合上飯田第一病院(230床)、北館(外来棟)、南館(入院棟)



▲昭和26年頃 昭和26年4月…愛知県下で2番目の医療法人愛生会上飯田第一病院(20床)を設立



▲昭和22年頃 昭和22年12月…12坪の小さな診療所を誕生させました

皆さまに求められる医療提供体制の実現に向けて

愛生会は今日までも急性期から在宅医療まで継ぎ目のない医療を提供することを心がけて参りましたが、この度社会医療法人に移行した事をきっかけとして、10年後、20年後、さらにその先の社会の変化に対応して貢献できるように、地域と一体となった医療提供体制を整備しなくてはならないと考えております。真に皆さまに求められる医療提供体制の実現に向けて、職員一丸となって対応して参りますので、皆さま方の格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

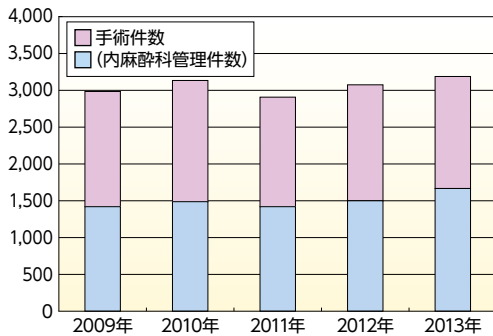
手術室と麻酔科 安全で質の高い医療を提供

本院の手術室は、東日本大震災を教訓に大災害時においても病院の医療機能を維持することを目的として南館に増築した、耐震性に優れた新棟2階へ2012年7月に移転しました。北館では、5部屋だった旧手術室が人工関節手術に対応したクリーンルームを含む6部屋となり現在稼働しています。



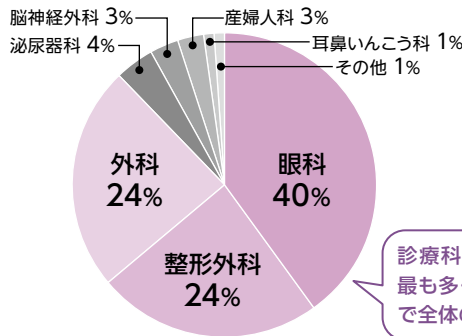
総合上飯田第一病院
副院長兼手術室部長 坪井 博

総合上飯田第一病院 手術・麻酔科管理件数推移



手術件数が年間3,196件、
麻酔科管理件数が年間1,671件(2013年実績)、
ともに過去最高。

総合上飯田第一病院 診療科別手術割合(2013年)



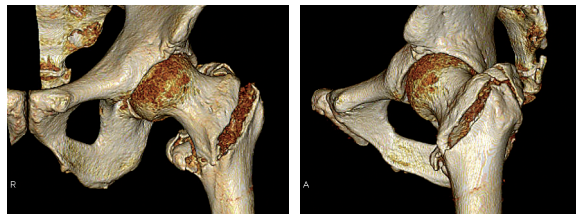
診療科別手術件数では、眼科が最も多く、次いで整形外科、外科で全体の約9割を占めています。

手術内容の内訳は、眼科が白内障、緑内障、硝子体手術、整形外科が大腿骨頸部骨折、人工関節、関節鏡視下手術、外科が甲状腺、乳腺手術が多いことが特色です。特に硝子体、甲状腺手術は、愛知県下でトップクラスの症例数となっています。



▲人工関節手術に対応したクリーンルーム

運営に当たっている手術室のスタッフは、看護師、看護補助、事務職の約20名からなります。麻酔科医は、常勤麻酔医4名、非常勤麻酔医2名の体制で行っております。また、手術室の安全管理のため、臨床工学士が医療機器のチェックを行い、問題発生時には直ちに対応できる体制にあります。手術は、執刀医ほか他職種のスタッフが一丸となって行うチーム医療です。



▲3次元画像ワークステーション
3次元画像と術野の位置関係をコンピューター上で処理して手術を補助します。

麻酔科 手術の麻酔とは？



総合上飯田第一病院
麻酔科部長 岩田 健

Q 麻酔はどんなことをするのでしょうか？

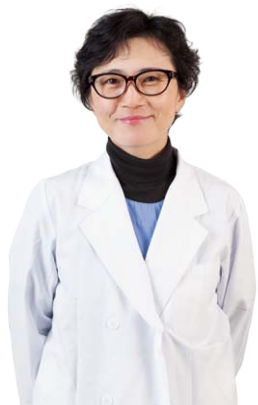
病気やケガを手術で治すことになった時に、痛くないようにするのが「麻酔」だということをご存知だと思います。皆さまは、歯医者さんで痛み止めの注射をしてもらってから、怖いのをじっと我慢しながら動かないようにして治療を受けたことがあると思います。手術をされている時に、怖いのを我慢しなくてもいいように眠らせる、手術をしやすくするために動かないようにしてしまう、そういったことも麻酔の目的となることがあります。大まかですが、手術中の痛みだけを取るのが「局所麻酔」、痛みや意識を無くして動かないようにするのが「全身麻酔」だと考えてもいいでしょう。

Q 私、麻酔はかかりますか？大丈夫ですか？

新しい薬や器具・モニター装置の開発、いろいろな麻酔方法の応用といった「麻酔科学の発展」により「麻酔そのもの」は安全になってきていますのでご安心ください。その反面、生活環境の改善やいろいろな病気に対する治療の進歩により、心臓や肺、脳や神経などに持病のある方やご高齢の方が多くなり、麻酔リスク(危険度)の高い手術の件数が増加しています。

私たちスタッフ一同は、常に安全で質の高い医療を提供し、安心して患者さまが手術を受けられる手術室・麻酔科でありたいと努力しております。

眼科 網膜静脈閉塞症の治療と経過



総合上飯田第一病院
眼科部長 古川 真理子

当院眼科は、白内障、緑内障、網膜硝子体疾患を中心に毎年1,200例以上の手術を施行しています。ここでは、眼底出血を起こす代表的な病気の一つで網膜静脈閉塞症についてお話しします。

網膜静脈閉塞症とは？

網膜静脈閉塞症は、**網膜の血管(静脈)が詰まって血液が流れなくなる病気**です。静脈が詰まるとその部分で心臓に血液が戻らなくなり、血管から血液があふれ出し眼底出血やむくみ(浮腫)をおこします。この出血や浮腫が眼底の最も重要な部位(黄斑)に及んでしまうと、**視力に大きく影響したり、歪んでみえたり、暗く見えたりなどの症状**があらわれます。また病変が黄斑に及ばなくても、眼底の広い範囲に出血が生じると**視野が欠ける**ことがあります。病巣が小さく黄斑に影響しなければ、無症状のまま過ぎて行く場合もあります。

治療が必要となるのは？

治療が必要となるのは、**視力に影響する場合**です。内服治療として循環改善薬を用いる事がありますが、劇的に効果が現れる治療とはいえません。また眼の疾患ですが、この病気に有効な点眼や軟膏はありません。内服によっても症状が改善しない場合には、以下のような治療が行なわれます。



▲網膜静脈閉塞症による眼底出血

① レーザー治療(網膜光凝固術)

眼底にレーザー光線を照射することで、出血や浮腫をひきやすくします。治療には入院を必要とせず、**外来で受けられます**。ただし黄斑やその近くにはレーザー光線は照射できないため、症状が重い場合には限界があります。

② 手術治療(硝子体手術)

硝子体という眼の中の透明な組織を手術的に取り除くと、出血や浮腫が改善しやすくなります。他の治療に比べて**再発が少ない傾向**にあり、もし再発が起きても重症化しにくくなります。手術の安全性は高くなっていますが、合併症がまれに生じる事があります。

③ 薬物治療(眼球注射)

ステロイドや抗VEGF(血管内皮増殖因子)薬を眼球に注射する治療で、外来で行う事が出来ます。抗VEGF薬注射は2013年秋から国の認可が得られた**最も新しい治療**です。眼球注射治療は投与後比較的早期に効果が期待でき、浮腫は1週間ほどで軽くなり患者さまの見え方は改善します。一方で眼球内に薬物が直に入るため、**薬の副作用に注意が必要です**。ステロイドを使用した場合は緑内障や白内障を起こすことがあります。抗VEGF薬は、心筋梗塞や脳梗塞の既往のある患者さまには慎重投与となります。また薬物治療は1回投与では治癒しない事が多く、ステロイドでは数ヶ月、抗VEGF薬は1カ月しか効果が期待出来ません。薬の効果がなくなれば浮腫は再発し、治療前の状態に戻ってしまいます。ですからこのような薬剤治療を行なう場合には、**何回も眼球注射を継続する必要があります**。さらに抗VEGF薬は保険治療ですが高額(1本約17万円)なため、**経済的に大きな負担になります**。

このようにいくつかの治療がありますが、この病気になってしまったら最終的にどうなるのでしょうか？実はどの治療を行なっても、**黄斑部に浮腫が起きてしまうと歪みや暗さが後遺症として残ります**。重症例では視力の戻りが不良な場合もあります。しかし**8割の患者さまは治療後に視力は改善**します。

では治療を行なわなかったらどうなるでしょう？真っ暗(失明)になる事はないにしても無治療であれば、浮腫は何年も続くため神経に傷がつき**視力は徐々に低下**します。治療によって元に戻る事はないにせよ、**治療を受ける事は視力を少しでも維持させる為には必要**です。

どの治療が最も適しているかは、眼底の状態や患者さまの都合によってさまざまです。緊急度は高くない病気の為、医師と相談の上で患者さまに合った治療を選択しましょう。

第8回

市民公開講座

テーマ 「腎臓について考えよう」

平成26年2月15日(土) 来場者数 101名



当院では、地域の皆さまに病気や医療についての知識を深めていただくため、市民公開講座を年3回開催しております。第8回市民公開講座は、平成26年2月15日(土)に開催いたしました。今回は、慢性腎臓病と腎臓をいたわる食事の話でした。慢性腎臓病の初期は自覚症状がありません。放っておくと進行して血液透析や腎移植が必要になります。進行を防ぐには健康診断を受けること、日々の食生活に注意していくことが大切だと伝えていました。来場された方の感想は「病気も食事のことも具体的な話でわかりやすかった」と好評を得ました。



総合上飯田第一病院
腎臓内科医師
河合 浩寿

講演1 慢性腎臓病について

定期的な健康診断と生活習慣病の予防

腎臓は体内の老廃物を除去するだけでなく、ホルモンを作る機能や血圧を調整する機能もあります。慢性腎臓病の初期は自覚症状がありません。そのため健康診断で定期的に血液検査や尿検査を行うことが必要です。慢性腎臓病が進行して腎不全になると、血液透析や腎移植が必要になります。また脳卒中や心筋梗塞などの心血管病を発症するリスクが高くなります。近年は糖尿病から慢性腎臓病に至る方が増加しています。定期的な健康診断を受け、日頃の食生活に注意することが大切です。

講演2 知っておきたい!腎臓をいたわる食生活

塩分・タンパク質の取りすぎ注意!



総合上飯田第一病院
栄養科主任
山田 恵子

食事の基本は、主食・主菜・副菜の組み合わせです。腎機能を低下させないためには、塩分・タンパク質を控えた食事が大切です。塩分を控えるには漬物を減らしたり、しょう油や味噌の代わりに香草野菜や酢などの香辛料を使用します。タンパク質を控えるには肉や魚の量を減らしますが、その分の摂取エネルギーはタンパク質を含まない油脂や砂糖で補いましょう。「控えればよい」摂取しなければいいと思わず、必要量は摂取し、楽しくておいしい食事を続けることが、日々の予防に繋がります。

※糖尿病の方は主治医とご相談の上、食事を工夫しましょう。

第9回 市民公開講座

無料

日時 平成26年5月31日(土) 13:30開場 14:00開演

会場 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

テーマ 気になる眼の病気

「白内障・緑内障ってどんな病気?」
「点眼薬の正しい使い方」

講師 総合上飯田第一病院
眼科部長 古川 真理子

お問い合わせ
お申し込み

総合上飯田第一病院
総合支援センター 地域医療連携室
TEL (052) 991-3111

総合上飯田第一病院

汗と涙と爆笑の... 青空コンサート!

闘病中の患者さまやご家族に笑顔と元気をお届けしたいと、緩和ケアチームの呼びかけで一昨年より院内コンサートを始めました。出演は、一部を除きすべて当院の職員からなり、実行委員会が院内の全ての部署に声掛けし、総勢約70名が協力して作り上げる大イベントに育ちました。

初心者ばかりの合唱団「青空エコーズ」と、楽器経験者によるバンド「上飯田スイングガールズ&ボーイズ」は、毎回ご来場の皆さまから元気と勇気がもらえ励みになるとの声をいただき、昨年のクリスマスに第4回目を開催することができました。カクテルショーと院内のドラゴンズファンクラブ「笑電会」の競演、ハンドベル・元患者さまのオカリナ、艶奏も加わり、最後は会場全体で「風になりたい」を熱演熱唱して患者さまと職員一体となり盛況のうちに幕を下ろしました。



演奏、手品、ダンス等のボランティア募集中です。

お問い合わせ 総合上飯田第一病院
青空コンサート実行委員会
aozora_concert_kamiida@yahoo.co.jp

あじま眼科クリニック

診療科目 **眼科**



院長 鈴木 万里子

開業の経緯

市外の公立病院で14年間勤務していましたが、生まれ育った地元で診療したいと強く思うようになり、平成4年5月に当地で開業しました。



診療の傾向

常勤9名、パート1名(薬剤師1名・正看護師1名・視能訓練士3名・事務3名・診察介助2名)のスタッフと共に、かかりつけ医として気軽に受診し相談できる診療所を目指しています。白内障では患者さまの話を聞いて手術時期を判断し、重症の糖尿病網膜症では内科の先生と連絡を取り合って二次病院を紹介しています。

総合上飯田第一病院へ

開業当初から最も近い総合病院として眼科をはじめとして脳神経外科や神経内科の先生には大変お世話になっています。白内障手術については、手術後すぐ当院に戻していただき術後管理が出来ますし、糖尿病網膜症では必要な検査の後、当院で可能な光凝固の指示を貰えるので患者さまの負担も少なく助かっています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



〒462-0014 名古屋市北区楠味鏡2-1704
TEL(052)902-8811 FAX(052)902-0631
診療時間/午前9:00~午後12:00
午後4:00~午後6:30
休診日/水曜日の午後、土曜日の午後、
日曜日、祝祭日
水曜日のみ予約診療



愛生会からのお知らせ 平成26年4月~6月

第5回 上飯田乳がん講演会 日時 平成26年6月14日(土) 13:00開場 13:30開演 会場 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

対象 乳がんのため、総合上飯田第一病院へ入院されている患者さまとご家族

参加費 500円

お問い合わせ 総合上飯田第一病院 外科外来
TEL(052)991-3111

テーマ **乳がんと美容について**

講師 美容ジャーナリスト 山崎 多賀子氏

※参加ご希望の方は、事前に参加申し込み手続きが必要となりますので、ホームページをご覧ください。 <http://www.kamiida-hp.jp>

糖尿病教室

日時 毎月第1金曜日 10:30~13:30

場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

講師 医師・管理栄養士・理学療法士

お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 内科外来
TEL(052)991-3111

糖尿病バイキング教室

日時 不定期(年4回)

場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

講師 医師・管理栄養士

お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 内科外来
TEL(052)991-3111

母乳教室

無料

日時 毎月第1土曜日 10:00~11:30

場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

講師 助産師

お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

マタニティヨーガ教室

日時 毎週水曜日 14:00~16:00

場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

講師 助産師 費用 300円

お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

母親教室

無料

日時 毎月第1・第3水曜日 13:30~15:30

場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

講師 助産師

お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

ファミリークラス

無料

日時 毎月第1土曜日 13:30~15:30

場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

講師 助産師

お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

安産教室

無料

日時 毎週金曜日 15:00~16:00

場所 総合上飯田第一病院 北館2階 産婦人科外来

講師 助産師

お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

介護教室

無料

日時 平成26年 4月12日(土)
4月26日(土)
5月10日(土)
6月14日(土)
14:00~15:00

場所 上飯田リハビリテーション病院 1階会議室

講師 介護士・理学療法士・作業療法士など

お問い合わせ・お申し込み
上飯田リハビリテーション病院
TEL(052)916-3681

YYサークル(育児サークル)

無料

※授乳中のママが参加していますので、パパのご参加はご遠慮ください。

日時 毎月第1・第3木曜日 14:00~15:00 場所 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

対象 産後2ヶ月~1歳未満の「ママと赤ちゃん」

講師 助産師など

お問い合わせ・お申し込み
総合上飯田第一病院 産婦人科外来
TEL(052)991-3111

看護師・助産師 募集中

看護学生、現職の看護師・助産師の方、病院見学随時受付中です。

お問い合わせは愛生会本部 TEL(052)914-7071

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.kamiida-hp.jp>



総合上飯田第一病院 外来担当医表

TEL(052)991-3111

外来担当医表は、平成26年3月現在で作成されております。担当医師が変更となっている場合もございますので、お問い合わせください。

診療科		月	火	水	木	金	土
一般内科	午前	☆交代制	櫻井徳千 ☆交代制	☆交代制	☆交代制	脇田 彬 ☆交代制	☆交代制
循環器内科	午前	林田 竜	岡本理絵	多湖三重	山下 健太郎	岡本理絵	
	午後			竹下享典			
消化器内科	午前	城 浩介 小田切 英樹 杉田裕輔	小栗彰彦 村居 譲	城 浩介 齋藤雅之	村居 譲 小田切 英樹	小栗彰彦	☆交代制
呼吸器内科	午前		伊藤亮太		佐々木 智康 横山 裕	近藤千晶	
禁煙外来	午後			城 浩介(完全予約制)			
腎臓内科	午前	河合浩寿				加藤 悠佳理	
	午後				三浦直人		
神経内科	午前	宮崎 雄	鈴木啓介	野田智子	濱田健介	今井和憲	
	午後				千田 譲		
旅行医学	午後		濱田健介				
糖尿病内科	午前		山本 由紀子	二口祥子 三浦 英里子	宮田美咲	山本 由紀子	交代制(不定期)
	午後	二口祥子					
外科	午前	佐々木 英二 山内康平	杉浦友則	佐々木 英二 岡島明子	岡島明子	雄谷純子	交代制
大腸専門	午後				加藤知行	加藤知行	
甲状腺外科	午前		加藤万事		加藤万事		
	午後			加藤万事			
乳腺外科	午前	窪田智行(完全予約制)	雄谷純子(完全予約制)	窪田智行(完全予約制) 山内康平(完全予約制)	雄谷純子(完全予約制)	窪田智行(完全予約制) (受付11:00まで)	
	午後	窪田智行(完全予約制)		窪田智行(完全予約制) 山内康平(完全予約制)			
緩和ケア相談外来	午後			岡島明子(完全予約制)			
血管外科	午後					城所 仁(完全予約制)	
整形外科	午前	☆土谷早穂 ☆小林和克 (不定期) 加藤大三 ☆浅井秀司	☆丸山聖子 酒井忠博 (9:30~) ☆中島基成 国立真以	良田洋昇 佐藤晋介 新城龍一 ☆国立真以	片岡祐司 ☆二村尚久 筑紫 聡 土谷早穂 (9:30~)	良田洋昇 佐藤晋介 ☆濱田 恭 丸山聖子	☆交代制 ☆交代制(脊椎)
	午後	今釜史郎(完全予約制) (<small>脊椎</small>) (受付14:00まで)	片岡祐司(完全予約制) (<small>人工関節・膝関節専門外来</small>)		土谷早穂(完全予約制) (<small>膝・肩専門外来</small>)		
スポーツ外来	午後				良田洋昇(第1,3週) (<small>関節鏡・スポーツ外来</small>)	大島祐之(第2,4週)	
皮膚科	午前		田中るい	竹尾友宏		岡地 奈津子	交代制
泌尿器科	午前	新美和寛(受付11:00まで) 郡 健二郎(月1回)	新美和寛	戸澤啓一	林 祐太郎	新美和寛	交代制
	午後	田口和己(完全予約制)					
脳神経外科	午前	水野正明	魚住洋一	岡本 奨	魚住洋一	荒木芳生	交代制
脳神経外科・てんかん外来	午前					木田義久(完全予約制)	
ペインクリニック外科	午前		山田 満			坪井 博	
小児科	午前	☆後藤泰浩	☆多田英倫	☆後藤泰浩	☆後藤泰浩 坂本龍雄(アレルギー)	☆早川昌弘	後藤泰浩(ワクチン)
	午後	後藤泰浩		後藤泰浩 早川 知恵美(小児発達相談)	後藤泰浩 坂本龍雄(アレルギー)	後藤泰浩	
産婦人科	午前	高橋千晶	後藤真紀	徳橋弥人 高橋千晶	眞鍋 てるみ	徳橋弥人 熊澤詔子	交代制
	午後	高橋千晶(完全予約制)					
耳鼻いんこう科	午前	久野 佳也夫	久野 佳也夫	☆交代制(10:00~11:00)	久野 佳也夫	久野 佳也夫	☆交代制
めまい外来・音声外来	午前	久野 佳也夫	久野 佳也夫		久野 佳也夫	久野 佳也夫	
物忘れ評価外来	午前	鵜飼克行(完全予約制)		鵜飼克行(完全予約制)			
	午後	鵜飼克行(完全予約制・初診のみ)		鵜飼克行(完全予約制・初診のみ)			
眼科	午前	長島弘明 江崎雄也 ☆青柳 和加子	古川 真理子 長島弘明 江崎雄也 澤 味歩	澤 味歩 大橋文隆 ☆交代制	古川 真理子 長島弘明 江崎雄也 ☆青柳 和加子 大橋文隆(第2,4,5週)	古川 真理子 長島弘明 江崎雄也 ☆非常勤	※紹介患者 救急患者のみ
	午後			青山 裕美子(第1,3週)			

※受付時間・診察開始時間、外来担当医の変更や休診などはホームページでご確認ください。http://www.kamiida-hp.jp
※当院は予約診察を行っております。(予約診察以外の医師には、☆印が付いております)

急患の方は24時間、随時受付いたします。



社会医療法人 愛生会 総合上飯田第一病院

●診療体制
内視鏡センター／腎センター
甲状腺・内分泌センター／乳腺センター
人工関節・関節鏡センター／脳卒中センター
健診センター(人間ドック・各種健康診断)

〒462-0802 名古屋市中区上飯田北町2丁目70番地
TEL(052)991-3111 FAX(052)981-6879
ホームページ http://www.kamiida-hp.jp
E-mail: info@kamiida-hp.jp



社会医療法人 愛生会 上飯田リハビリテーション病院

●回復期リハビリテーション病棟 ●通所リハビリテーション
〒462-0802 名古屋市中区上飯田北町3丁目57番地
TEL(052)916-3681 FAX(052)991-3112
ホームページ http://www.kami2-hp.jp

社会医療法人 愛生会 上飯田クリニック

●人工血液透析
〒462-0802
名古屋市中区上飯田北町1丁目76番地
TEL(052)914-3387 FAX(052)911-4866

愛生訪問看護ステーション

〒462-0808
名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL(052)991-3210 FAX(052)991-3579
ホームページ http://www.aiseikai-hc.or.jp/vn-st

あいせいデイサービスセンター

〒462-0861
名古屋市中区辻本通2丁目38番地
TEL(052)991-3548 FAX(052)991-3600

愛生居宅介護支援事業所

〒462-0808
名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL(052)991-3546 FAX(052)991-3539

愛生会看護専門学校

〒462-0011
名古屋市中区五反田町110番地の1
TEL(052)901-5101 FAX(052)901-5101
ホームページ http://www.ngy.1st.ne.jp/ai-kango
E-mail: ai-kango@ngy.1st.ne.jp

愛生会本部

〒462-0808
名古屋市中区上飯田通2丁目37番地
TEL(052)914-7071 FAX(052)991-3543
ホームページ http://www.aiseikai-hc.or.jp
E-mail: aiseikai@kamiida-hp.jp